



山下 巧 議員

自然景観の保全について

問 日本の白砂青松百選に選定

されている湖西の松林を

どのように捉えているのか

答

琵琶湖の水辺景観を形成する重要な要素の一つとして位置づけされており、人々の憩いの場やレクリエーションなどの活用に繋げる大切な資源であると捉えています。



木の除去作業に着手するとともに、3月3日からは市内広範に松並木の枝折れの撤去処分を行っています。

問 将来、松林が半減してしま

うおそれがある。地域住民の声を聴き、生活の安全確保とともに景観保全の両立を図るべきではないか。

答 環境部長

まずは地域においてニーズを踏まえられた上で、松林保全に向けた市民活動の機運の高まりが望ましいと考えます。その上で、自然公園施設の管理者である県とともに、自然公園施設の保全あるいは利活用の在り方について研究する中で、松林保全も含めて今後模索していきたいと考えます。

問 琵琶湖岸の松林の現状についてどのように把握しているのか。

答 都市整備部長

琵琶湖岸の松林が市道に隣接していることから、道路の適正な維持管理のため、台風による強風や降雪による影響を受ける時期にはパトロールを実施しています。また、枝折れ等の情報提供をいただく場合があり、その都度、迅速に対応するとともに、市道の建築限界範囲内に張り出した枝について、適宜伐採を行っているところ です。



撤去のため集められた松枝

問 強風や雪による倒木や枝折れへの対応はどのようにしているのか。

答 環境部長

豪雪時や台風通過後には、様々な被害が想定されますことから、市において巡視点検を行い、危険木撤去などの応急対応を行うとともに、被害

状況に応じて、県と連携・役割分担しながら、危険度等を見極めた上で優先順位を判断し、復旧対応に努めているところ です。

今年度は、年末以降の複数回にわたる豪雪や強風の影響を受け、マキノ町から今津町地先の今津百瀬川園地、桂浜園地、今津浜園地、並びに新旭町地先の新旭浜園地を中心に、約30本の倒木を確認しており、また、広範囲にわたって枝折れが多数発生している状況であります。こうした状況を踏まえ、2月9日から倒